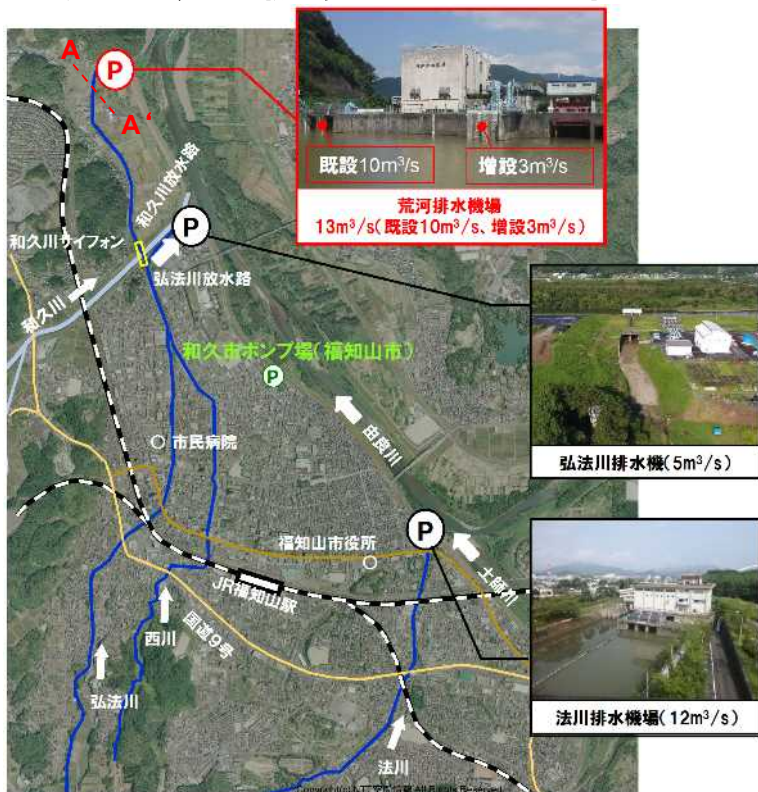


由良川 荒河排水機場増設の効果（平成28年9月20日 台風16号出水）

- 荒河排水機場は、これまでの $10\text{m}^3/\text{s}$ のポンプに加え、 $3\text{m}^3/\text{s}$ のポンプを増設しました。
- 荒河排水機場では、平成28年9月20日12時～21日10時にかけて、内水被害発生に備えて、ポンプを操作・運転し、**総排水量63.5万 m^3 の内水**を排出しました。そのうち増設した $3\text{m}^3/\text{s}$ のポンプでは、**9.5万 m^3 の内水**を排出しました。

■ 荒河排水機場の位置・全景

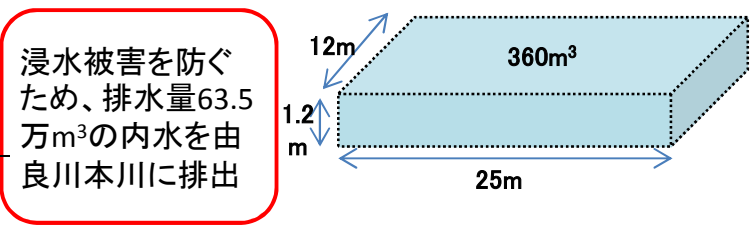


■ ポンプ能力

	ポンプ能力	25mプールで換算した場合の能力
増設前	最大 $10\text{m}^3/\text{s}$ ($5.0\text{m}^3/\text{s} \times 2$ 基)	約 36秒 で25 m プールの水すべて排出できる
増設後	最大 $13\text{m}^3/\text{s}$ ($5.0\text{m}^3/\text{s} \times 2$ 基) ($1.5\text{m}^3/\text{s} \times 2$ 基)	約 28秒 で25 m プールの水すべて排出できる

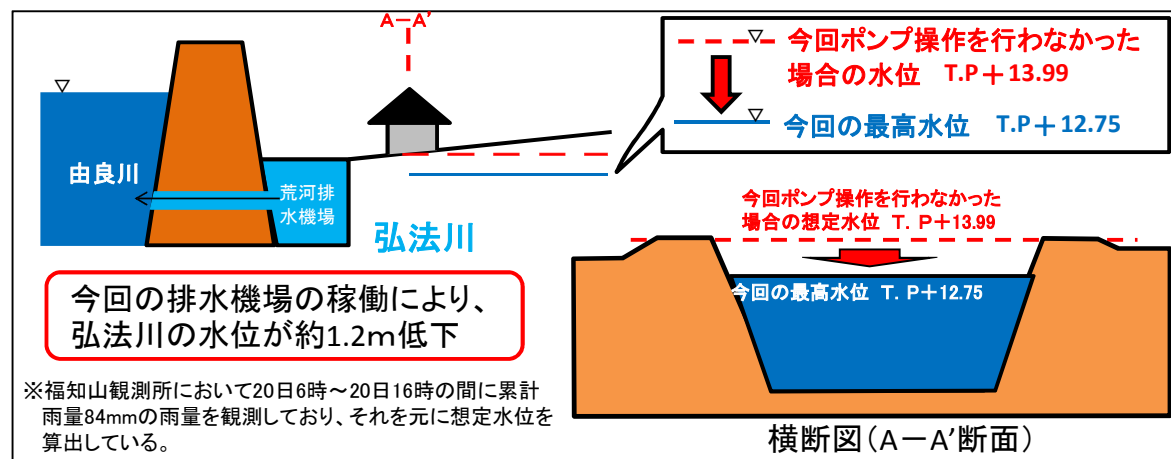
■ 効果

- | | | |
|--------------------------------|---------------------------------------|-----------------|
| 既設 $10\text{m}^3/\text{s}$ ポンプ | ■ 排水量 | ■ 25 mプール |
| | ■ 54.0万m^3 | ■ 1500杯分 |
| 増設 $3\text{m}^3/\text{s}$ ポンプ | ■ 排水量 | ■ 25 mプール |
| | ■ 9.5万m^3 | ■ 265杯分 |
| 合計 ($13\text{m}^3/\text{s}$) | ■ 排水量 | ■ 25 mプール |
| | ■ 63.5万m^3 | ■ 1765杯分 |



■ 荒河排水機場の役割

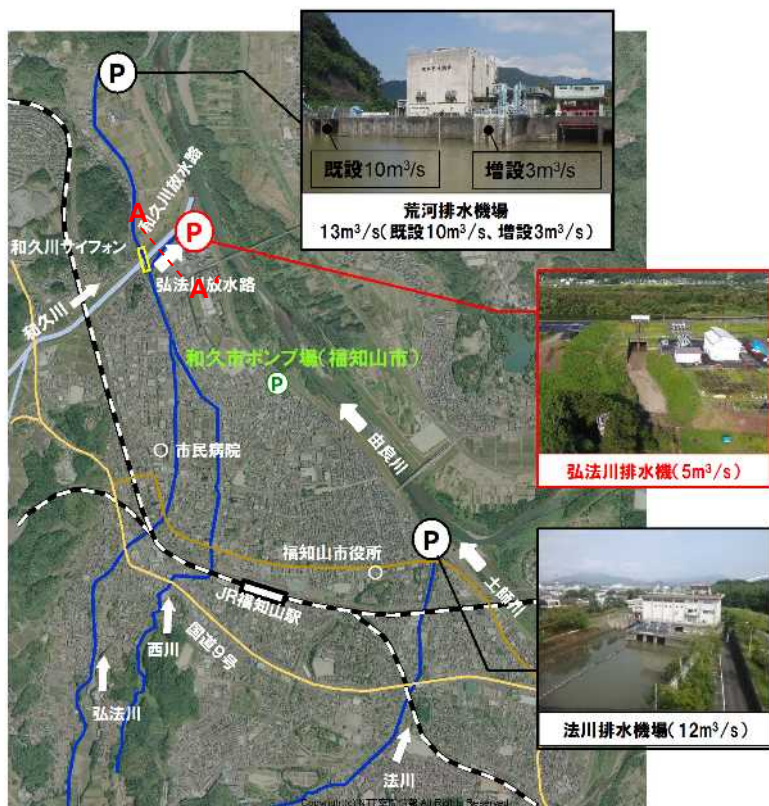
荒河排水機場は、昭和56年に運用開始後、平成6年に増設し、最大 $10\text{m}^3/\text{s}$ の能力とした。今年9月15日には $3\text{m}^3/\text{s}$ の増設を行った。弘法川流域に降った雨を由良川へ排水することにより、福知山盆地の内水被害を軽減する役割を担っている。



由良川 弘法川救急排水ポンプ設備の効果（平成28年9月20日 台風16号出水）

■弘法川救急排水ポンプ設備では、平成28年9月20日13時～20日17時にかけて、内水被害発生に備えて、ポンプを操作・運転し、**総排水量5.1万 m^3 の内水**を排出しました。

■弘法川救急排水ポンプ設備の位置・全景



■ポンプ能力

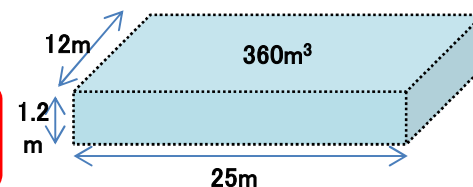
最大 5 m^3/s
(1.25 m^3/s × 4 基)

約72秒で
25 m プールの
水すべて排出
できる

■効果

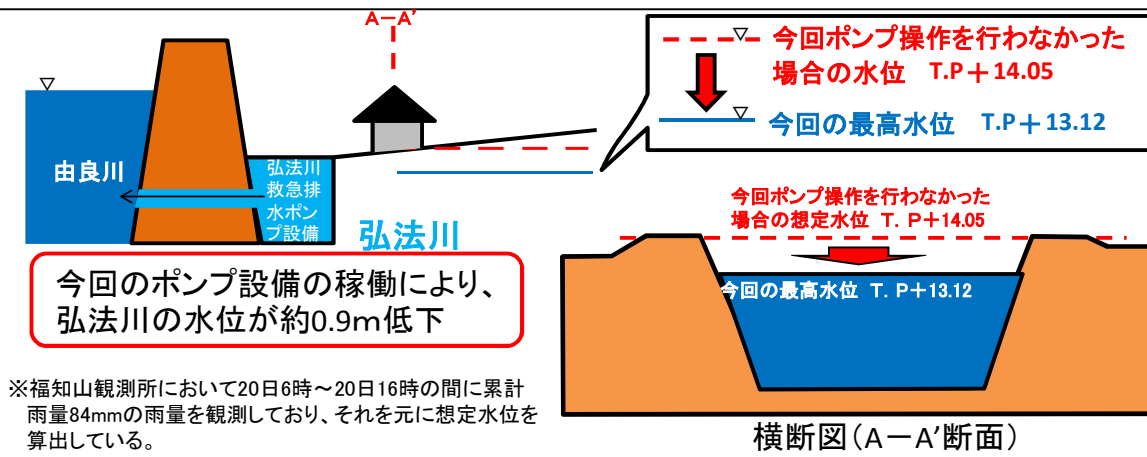
排水量 5.1万 m^3 = 25 mプール 142杯分

浸水被害を防ぐため、排水量5.1万 m^3 の内水を由良川本川に排出



■弘法川救急排水ポンプ設備の役割

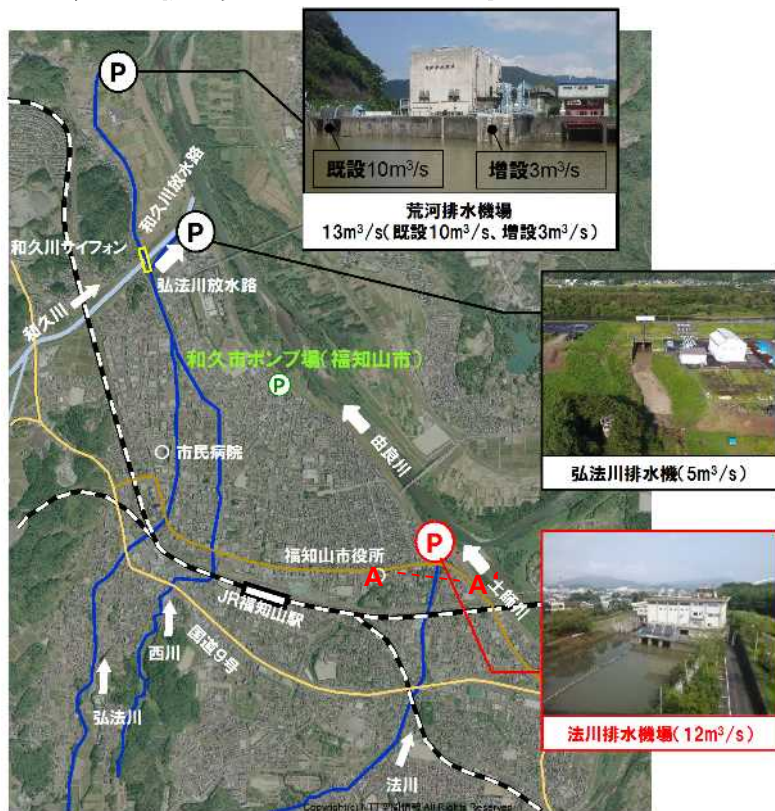
弘法川救急排水ポンプ設備は、昭和55年に運用開始した。弘法川流域に降った雨を由良川へ排水することにより、福知山盆地の内水被害を軽減する役割を担っている。



由良川 法川排水機場の効果（平成28年9月20日 台風16号出水）

■法川排水機場では、平成28年9月20日13時～21日7時にかけて、内水被害発生に備えて、ポンプを操作・運転し、**総排水量14.6万m³の内水**を排出しました。

■法川排水機場の位置・全景



■法川排水機場の役割

法川排水機場は、昭和54年に運用開始し、平成6年に2号ポンプ増設完了し、平成12年に3号ポンプ増設完了した。法川流域に降った雨を由良川へ排水することにより、福知山盆地の内水被害を軽減する役割を担っている。

■ポンプ能力

最大 12 m³/s
(4 m³/s × 3 基)



約30秒で
25 m プールの
水すべて排出
できる

■効果

排水量 14.6万m³ 25 mプール
407杯分

浸水被害を防ぐため、排水量14.6万m³の内水を由良川本川に排出

